

〒511-0073
三重県桑名市北寺町47番地
TEL (0594)-22-0652
FAX (0594)-22-0681
全日 開門 6:00 / 閉門 17:00
(寺務所 平日 9:00~17:00
また、1月6日までお休みいただきます。)

真宗大谷派
(東本願寺)

桑名別院 本統寺



ご坊さんだより

2022年

1月



池田 勇 諦 氏 の ご 法 話

去る12月20日から23日まで、四日間わたり別院報恩講が厳修されました。お念仏の教えに生きられた先達に思いをいたし、自らの生活を振り返る法要となりました。

12月20日～23日
桑名別院 報恩講



満堂となる参詣席

新型コロナウイルスの感染対策として、席に限りを設けていたということもあります。期間中、何度も本堂が満席となり、庫裡のモニター参詣席にお回りいただくこととなりました。たくさんの方々にお参りいただきまして、またお手伝いくださいまして、無事報恩講を勤めることができましたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。

報恩講 満堂で厳修

御満座挨拶



新型コロナウイルス感染症の状況下において、どのように勤めていくか、すべての人が思い煩い、悩みながら準備を進めて参りましたが、11月に入り、障子の張り替え作業から、境内の清掃、準備等々、皆様方のお力、お気持ちをいただきました。この四日間も様々な形で多くの方々に支えていただき、そして往生極楽の道を問い聞かめんと願われたご参詣の皆様方の思いが結実して、桑名別院報恩講の御満座を迎えることができました。

この御満座は同時に来年の報恩講に向けての出発だということをお知らせしております。私たち真宗門徒は、報恩講ではじまって報恩講で終わる一年のご恩が報恩講であると、先達からうかがっております。私たちはいつ終わるか分からない命をいただいておりますが、今日の御満座をひとつの縁として来年の報恩講に向けて、一人一人が精進して、私たちの生活を真宗の教えにたずねながら一日一日を歩んで参りたいと思います。

「ご尽力いただきましたすべての皆様へ感謝を申し上げます。本年の桑名別院報恩講の御満座とさせていただきます。皆様本当にご大儀様でした。ありがとうございました。」

輪番 安田 雅 御満座御礼より

本願念仏の

御教えと共に

本山鍵役御参修

今年には本山鍵役であります、大谷浩之殿 信悟院殿が御参修され、22日の結願遠夜と、23日の結願日中にご出仕されました。

また、23日の午前には御鍵役の方もと帰敬式が執り行われ、今年には12人の方が受式されました。昨年が中止であったこともあり、受式者からは待ち望んだ姿が見受けられました。

御鍵役による 執行の辞（ことば）をご紹介させていただきます。



大谷浩之 鍵役ご出仕

本日は早朝より当桑名別院の御本尊の御前におかれまして、皆様方よりこそ帰敬式お受けいただきました。この帰敬式と申しますのは、ただいま「唱和いただきました三帰依文のとおり、皆様方が仏法僧の三宝に帰依し、これから仏弟子として新たに出発をしていただく大変大切な式であります。皆様方が仏弟子となられるということは、皆様方が自らの人生をあげて仏法を聴聞し、讃嘆して、全ての人々と共に御教えに照らされた真まことの道を歩んでいただくということでございます。今後は宗祖親鸞聖人が顕あきらかにされました、本願念仏の御教えを毎日の生活の拠りどころとし、いよいよ御同朋・御同行の生業 なりわいを深め、ますます宗門の護持相続されることを念じ上げます。また、これからお渡しします法名ですが、これは釋の一字がついております。これはお釈迦様の釋の一字をいただきました大変尊いお名前ですので、皆様方、ご生涯、大切にされますように念じております。本日は誠におめでたい日になりました。」



帰敬式（おかみそり）

帰敬式にご参詣くださいました方々や、式にお関わりの方々におかれましても、二年ぶりの式の厳かな様子と御鍵役のお言葉に、様々な感情を抱かされることになりました。

桑名別院では帰敬式を報恩講期間中に執行しております。来年の帰敬式におきましても、新たな仏弟子誕生のご縁がいただけるますよう、願っております。

御伝鈔拝読

『御伝鈔』とは、第三代の覚如上人が撰述された絵巻物です。宗祖親鸞聖人の生涯と、宗祖還帰後、お念仏の灯がいよいよ輝きを増していったことを後世に伝えていきます。報恩講では、御絵傳の映像と共に拝読されました。



20日：上巻拝読

輪番 安田雅



21日：下巻拝読

列座 山崎ゆかり

各座の法話

報恩講中、講師の方々より熱のこもった法話をいただき、参詣者は仏法聴聞に励みました。



中川 和子氏
三重組常願寺住職



花山 孝介氏
別院責任役員



芳岡 恵基氏
三重組翠巖寺住職



親鸞聖人讃仰講演会
三重教学学会共催
織田 顕祐氏

大谷大学名誉教授
同朋大学特任教授
真宗大谷派嗣講



片山 寛隆氏
別院責任役員



龍 茂樹氏
大垣教区善念寺住職



池田 勇諦氏
桑名組西恩寺前任職



安田 雅
桑名別院輪番

境内を照らす灯

以前より参拝いただく方々に修復費用を募っていただきました「天提灯」の修復が無事完了いたしました。この度の報恩講でお披露目となりました。

日の短い季節ということもありまして、天提灯は早い時間から境内でひときわ目をひく存在感を放ちながら、境内を優しく照らしておりました。



堂内を包む音楽

報恩講は、合唱団ひかりによる音楽法要によって始まりました。合唱団による優しい歌声は堂内を包み、いよいよ報恩講が始まる実感と感動を生みました。また、法要では楽僧による附楽が入り、厳かでありながら力強い音色が堂内に響きわたりました。



報恩講期間中、受付やアナウンス、駐車場係、お接待等、数々の場面で、たくさんの方々にご尽力承りました。また報恩講までの準備にも、たくさんのお力添えをいただきました。お一人お一人のお力で報恩講を迎えていくことができまして、大変嬉しく思います。ありがとうございました。

報恩講に向けて

別院婦人会・桑名組門徒会・坊守会と共に

清掃奉仕とおみそぎ

境内、本堂及び諸殿を綺麗にいたしました。

12月9日の清掃作業には桑名別院婦人会、桑名組門徒会を中心に41人、10日の仏具のおみそぎには18人の方々にご奉仕をいただきました。

各所、様々な箇所を豊富な経験と知恵で、高い場所から床の隅々まで見事に綺麗にさせていただきました。淡々と黙々と作業を進めていく姿には圧倒されました。



お華束作り

もち米からお餅を作り、それを小さく型抜きし、台座に組みあげ、最後に食紅を施しました。経験者の記憶を頼りに、意見を出し合い、協力して作ったお華束は荘厳な見事に飾りました。



近況をご報告いたします(^o^)/



フォローする

桑名のご坊さん

@kuwanabetsuin

真宗大谷派(東本願寺) 桑名別院 本統寺 全日 開門 6:00 / 閉門 17:00 (寺務所 平日9:00~17:00)

三重県桑名市北寺町47 mie-betsuin.com

この度、報恩講に向けた近況のご報告にツイッターのアカウントを開設いたしました。報恩講に限らず、桑名別院の日常報告から行事の告知まで、近況を発信していきますので、ぜひご覧いただけます。

